



「観光ターミナル『箱根・桃源台駅』のレジリエンスステーション化」の取組みが
ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）2017 優秀賞を受賞

ユアサ商事株式会社（本社 東京都千代田区 社長 佐藤悦郎）は、「観光ターミナル『箱根・桃源台駅』のレジリエンスステーション化」の取組みが評価され、第3回ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）にて、優秀賞を受賞いたしました。

「ジャパン・レジリエンス・アワード（強靱化大賞）」は、全国で展開されている次世代に向けたレジリエンス社会構築への先進的な取組みを発掘、評価、表彰する制度として、一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会によって2015年に創設されました。

今後も、本取組みを先進事例として、他の公共交通機関にも拡げ、災害対応能力強化を目的に、強くしなやかな地域づくりに貢献してまいります。

＜「観光ターミナル『箱根・桃源台駅』のレジリエンスステーション化」の取組み＞

神奈川県箱根町の芦ノ湖北側にある桃源台駅は、観光船、バス、ロープウェイなどが集まる交通結節点ですが、付近に宿泊施設が少なく、施設・備蓄品も不足しており、災害時には帰宅困難者が孤立してしまう懸念がありました。

そこで、2013年よりレジリエンスステーション化構想を発信していた当社と小田急箱根ホールディングス（株）が2014年秋より共同で検討を開始。まず、箱根町における帰宅困難者対策の方針に沿い、帰宅困難者用の一時滞在施設として、桃源台駅のレストラン施設（100名収容）と観光船（150名）が使用できることについて確認。そして、2016年9月には備蓄品の選定をおこない、防災備蓄倉庫とともにパッケージで納入したことにより、一時滞在施設一体型のレジリエンスステーション化を実現することができました。



左) 防災備蓄倉庫パッケージ。



右) 備蓄品として、災害時に250名が3日間滞在できるよう、発電機、投光機、食糧、芦ノ湖の水源を利用する浄水器等を選定し、納入しました。

《本件に関するお問合せ先》

ユアサ商事株式会社 総合企画部 TEL:03-6369-1133 E-mail:souki@yuasa.co.jp